

5千年ぶりに蘇る

# アーユルヴェーダ

⑦

バイオリンク 辻大作社長

商品開発とは、我々の常識の範囲内で発想するのではなく、従来の常識にとらわれない観点から発想しなければなりません。

「新陳代謝」という言葉があります。

「代謝」というのは、「排泄」という言葉に当たります。「代謝栄養素」という言葉もあります。これは「代謝」を促すビタミンだったり、ミネラル

けのことです。

「アーユルヴェーダ」には、きちんとした思想があり、だから「正しい」のではないのでしょうか。

それと重要なことは、安全性が非常に高いということです。

それがなかなか難しくかつたのにはいろんな理由があったようですね。それは原料自体の調達

が難しくかつたことです。「インドエステ」の胡麻油の場合、Aさんにはいいが、Bさんにはかぶれ

のです。ただ、それを採りし切れていなかったというのがこれまでの状況でした。

仮りにそのような原料があったとしても、「タメリック」のように顔に塗ってしまうと、顔が真黄色になってしまいます。それなら微量の配合ならどうかとなれば、効果は期待出来なくなりま

## 安全性は「保証」ずみ

### インドで5千年使われる

「新陳代謝」という言葉が使えば、「毒素排泄」の化粧品になるわけですが、これまでの化粧品には、そういうコンセプトは、そういって

はなかったわけではあります。ただ、きちんと

「アーユルヴェーダ」の化粧品活用には多くの人がチャレンジしてきたようですが、

インド数千年の歴史と日本の科学技術がマッチングした成果といえるのではないのでしょうか。これまで「アーユル

ヴェーダ」の化粧品活用「アーユルヴェーダ」でも、誰にでも結果が出

る素材にはあった

ただ、それについて解決出来る方法はあるのです。それは確かにそう簡単なものではありません。エキス抽出技術やその他いろんな要素が必要になって来ます。原料をそのまま使っていてはうまくいきません。

そのまま使っていてはうまくいきません。

そのまま使っていてはうまくいきません。